2024 年度特集テーマ

20230731 稲川

1. 現状

昨日を期日に、編集委員各位にテーマ、キーワード、テーマ選定理由をご提出いただきました。

2. 現在出ているテーマ案とそのキーワード

A. 分析化学の DX 化(昨年度次点テーマ)

(昨年度提案書抜粋:「分析化学の DX 化により実現される事例を研究者あるいは現場の技術者からご寄稿いただき、DX 化に新規参入をするための入門書」となるような特集号を企画することを提案します。そして、「DX 化により見えてくる分析化学の新たな展望についての深い議論」を行いたく存じます。)

B. 地域イノベーションに貢献する分析化学

Keywords: イノベーション 科学 分析化学 紙 食品 加工 マテリアル

選定理由: 地域イノベーションというフレーズが登場してから長い年月が経過したように感じるが、成功例が少ないように感じる。地域イノベーションの成功例を取り挙げることで、分析化学がどのように地域イノベーションと向き合っていけばよいのかに関するヒントを得ることができるものと期待している。

C. 微粒子の分析化学

Keywords: 細胞外微粒子、ナノ DDS、PM2.5、マイクロプラスチック、など

選定理由: 近年、身の回りには様々な微粒子があふれている。環境や生化学的にも重要な役割を果たす微粒子を分析化学的見地から議論する。

D. 分析化学とカーボンニュートラル

Keywords: 温室効果ガス (GHG) の分析技術, 環境試料のサンプリングと推定

選定理由: 昨今のカーボンニュートラル (CN) に関する動向はあるが、どの様に GHG が計測、評価されているのか興味がある。サンプリング (方法, 場所, 範囲), サンプリング結果からの広範囲の状態の推定など種々の手法が網羅できると考えた。

E. 生活を支える分析化学

Keywords: 新型コロナウイルス等を対象としたウイルス検査、ウェアラブルデバイス、簡易分析など

選定理由: 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、ウイルス検査、ウェアラブルデバイス、簡易分析などの研究が活発化したように思う。これらの研究は直接的又は間接的に我々の生活を支えるものであると

考え、分析化学の観点からこれらの研究に焦点を当てた本テーマを選定した。

3. 今後

- ・ 先日までにご提出いただいた案から新しいテーマへの乗り換えがあるかどうか編集委員各位に確認する。(～8/4 まで)
- ・ 乗り換え後、選択したテーマ内でディスカッションをし、A4 半分以内の提案書を作ってください(～9/30 このステップが省略される可能性もあり)
- ・ 提案書に基づき、編集委員全員でオンライン投票を行い、来年度の特集テーマを決定する(～10/31)